

## Web ページ制作支援システム「STADIC」のマニュアル

本システムは、昨今のコードを書く機会が増加するであろう中高生に向けたコード学習を支援する Web アプリケーションです。初歩的な内容で、かつユーザが書いたコードが視覚的にわかりやすいものとして Web ページの制作に必要な HTML、CSS、JavaScript（簡易的な内容）を学習できます。

### <会員登録について>

「Login」ボタン下部の「新規会員登録はこちら」というリンク先で行ってください。

A login form with a light gray background. It contains two input fields: the first is labeled "ID" with a person icon, and the second is labeled "PASSWORD" with a lock icon. Below these fields is a brown "Login" button. At the bottom of the form, there is a blue text link that reads "新規会員登録はこちら".

パスワードを設定する際は、**8 文字以上 16 文字以下の英数字**で設定してください。設定が終わりましたら「送信」ボタンをクリックすると、先ほどのログイン画面に戻ります。

# STADIC

Start Adventure in Code

👤新規会員登録はこちら

 ID

 PASSWORD

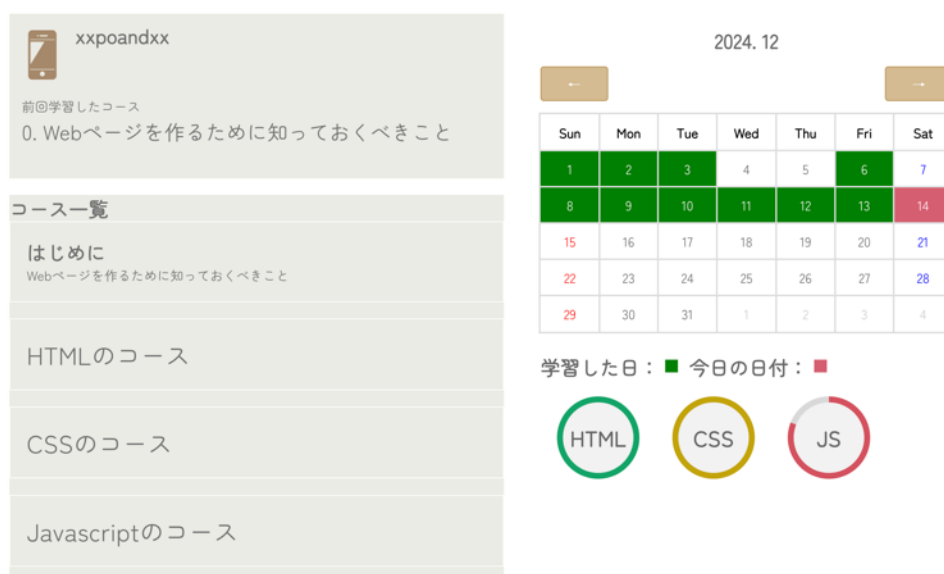
送信

[戻る](#)

## <利用方法について>

ホーム画面では、**HTML**、**CSS**、**JavaScript** の 3 つのコースに分かれています。それぞれのコースには 6~10 のコンテンツが含まれています。どれから学習しても構いませんが、初心者の方は「はじめに」から学習することをお勧めします。

ホーム画面右側の**カレンダー**は、学習した日を記録するものです。その下部にある 3 つの**円グラフ**は、どのコースをどのくらい完了させたかを視覚化するものです。



<学習方法について>

学習ページは以下のように会話形式になっています。学習ページの最下部には「演習へ進む」ボタンがあり、学習した内容を実際に書いてもらいます。

2. 文章を書いてみよう！《pタグ・hタグ》

HTMLコース一覧へ戻る

さてさて。  
基礎的な部分も説明したことですし、本格的に画面に表示される文章を書いていきましょう。

やっとなに見えるわけだ。

わくわくですね。

先ほど説明した「タグ」を使っていきます。  
文字を表示する際、**h要素**、**p要素**と呼ばれる要素を使います。  
h要素の「h」は「heading」の略で、**見出し**を意味するよ。  
文章のタイトルなどに使用されるもので、h1～h6があります。

p要素は「paragraph」の略で、**段落**を意味します。

ここでは、左側のエディタ部分に、課題に沿ったコードを入力してもらいます。カーソルを離し、何も無いところを一度クリックすると、左側の白い画面に書き込んだコードが表示されます。

2. 【演習ページ】 文字を書いてみよう！《pタグ・hタグ》

【演習1】  
HTMLファイルにh1タグを使って「Hello, World!」と入力してください。

【演習2】  
HTMLファイルにpタグを使って「Webページの基礎を学びましょう」と入力してください。

HTML

1 <!DOCTYPE html><!-- ここにhtmlコードを書いてください -->  
2  
3  
4  
5  
6  
7

CSS

1 /\* ここにcssコードを書いてください \*/  
2  
3  
4  
5  
6  
7

<コードの評価方法について>

ユーザの皆様が書き込んだコードを評価する手段として **Gemini API** を使用しています。コードを書き終えたら、**開発者ツール** (Macbook は fn キー+F12 キー、Windows は Cntl+Shift +I または F12 キー) を開き、エディタ下部の「評価する」ボタンをクリックしてください。Gemini API からの返答があるはずです。

### 3.[演習ページ]リンクを作成しよう！《aタグ/href属性》



【演習1】  
href属性のaタグを使って、  
リンクを表示してください。  
aタグには「ひよこの豆知識  
を教えます」と入力してくだ  
さい。



【演習2】  
href属性の属性値には  
example.htmlと入力して  
ください。

#### HTML

```
1 <!DOCTYPE html><!-- ここにhtmlコードを書いてください -->
2 <a href="example.html">ひよこの豆知識を教えます</a>
3
4
5
6
7
```

#### CSS

ひよこの豆知識を教えます

